

2025. 10 Vol.10

2025年10月21日発行

# OSAKA MAFF 通信

近畿農政局大阪府拠点



コキア 万博記念公園

## Topics

- ◆令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（近畿）
- ◆都市農業 新鮮な野菜の供給や地域の食文化継承を目指して
- ◆水なすの美味しさや農業の魅力を伝えたい！ ～大村農園～
- ◆「大阪産（もん）」の紹介 「柿」
- ◆「近畿 食と農まるごとブック」（令和6年度版）を活用ください

編集・発行 近畿農政局大阪府拠点

〒540-0008

大阪府中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎第1号館 6階

☎ 06-6943-9691

BUZZMAFFとなりの近畿



大阪府拠点HP



# 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（近畿）



近畿の令和7年産主食用米の予想収穫量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は47万1,500トン（前年産に比べ2万9,500トン増加）の見込み

## 【調査結果の概要】

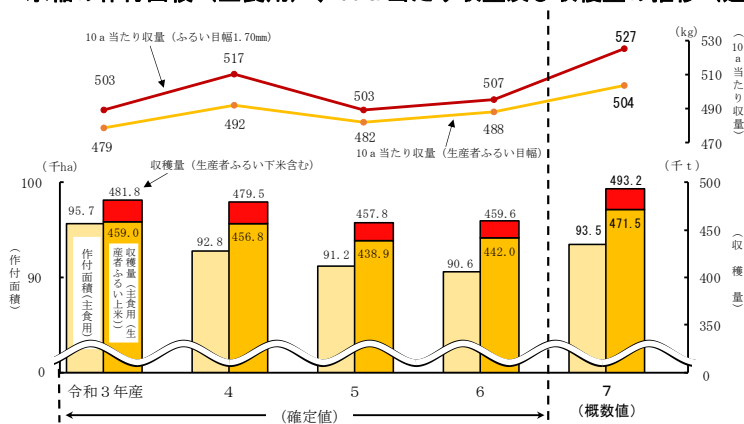
- 1 近畿の令和7年産水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mm、1.90mm）ベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））※は47万1,500tで、前年産に比べ2万9,500t増加と見込まれる。

※ 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mm、1.90mmベースのふるい上米

これは、作付面積（主食用）が9万3,500haで前年産に比べ2,900ha増加と見込まれることに加え、9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）が504kgで前年産に比べ16kg増加と見込まれるためである。

- 2 近畿の作況単収指数は104と見込まれる。

図 水稻の作付面積（主食用）、10a当たり収量及び収穫量の推移（近畿）



## 【調査結果：大阪府】

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は4,100ha（前年産に比べ200ha減少）と見込まれる。また、主食用作付面積は4,100ha（前年産に比べ190ha減少）と見込まれる。
- 2 主な収量構成要素をみると、全もみ数は、前年に比べ「やや多い」となった。これは、6月下旬以降日照時間が前年を上回って経過し、分けつが促進されたことから、穂数が前年と比べ多くなったこと、1穂当たりもみ数が穂数増による相反作用でやや少なくなったこと等による。  
千もみ当たり収量（登熟）は、出穂期以降、気象がおおむね前年並みに推移していることから「前年並み」と見込まれる。  
このことから、9月25日現在の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は488kg（前年産に比べ+16kg）と見込まれる。
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は2万t（前年産に比べ200t減少）と見込まれる。
- 4 大阪府の作況単収指数は102と見込まれる。

表1 令和7年産水稻の作付面積（主食用）及び9月25日現在の予想収穫量

| 府 県 | 作付面積（主食用） |         |     | 生産者が使用しているふるい目幅で選別 |                |                          |         |    |          | ふるい目幅1.70mmで選別 |              |                            |     |     |     |
|-----|-----------|---------|-----|--------------------|----------------|--------------------------|---------|----|----------|----------------|--------------|----------------------------|-----|-----|-----|
|     | 実 数<br>①  | 前年産との比較 |     | 10 a 当たり予想収量       |                | 予想収穫量<br>（主食用（生産者ふるい上米）） |         |    |          | 10 a 当たり予想収量   |              | 予想収穫量<br>（主食用（生産者ふるい下米含む）） |     |     |     |
|     |           |         |     | 実 数<br>②           | 前年産との比較<br>対 比 | 実 数<br>③＝①×②             | 前年産との比較 |    | 実 数<br>④ | 前年産との比較<br>対 比 | 実 数<br>⑤＝①×④ | 前年産との比較                    |     |     |     |
|     |           | 対 差     | 対 比 |                    |                |                          |         |    |          |                |              |                            |     | 対 差 | 対 比 |
|     |           |         |     |                    |                |                          | ha      | ha |          |                |              | %                          | kg  |     |     |
| 大 阪 | 4,100     | △190    | 96  | 488                | 103            | 20,000                   | △200    | 99 | 504      | 104            | 20,700       | 0                          | 100 |     |     |

表2 水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）、10a当たり予想収量及び主な収量構成要素の  
前年比較（9月25日現在）

| 府 県 | 作付面積（青刈り面積を含む。） |         |     | 生産者が使用している<br>ふるい目幅で選別       |                | ふるい目幅1.70mmで選別   |                | 主な収量構成要素（前年比較） |                  |             |                 | 作況<br>単収<br>指数 |
|-----|-----------------|---------|-----|------------------------------|----------------|------------------|----------------|----------------|------------------|-------------|-----------------|----------------|
|     | 実 数             | 前年産との比較 |     | 10 a 当たり<br>予想収量<br>(1.80mm) | 前年産との比較<br>対 比 | 10 a 当たり<br>予想収量 | 前年産との比較<br>対 比 | 穂数の<br>多少      | 1 穂当たりもみ<br>数の多少 | 全もみ数の<br>多少 | 千もみ当たり<br>収量の多少 |                |
|     |                 | 対 差     | 対 比 |                              |                |                  |                |                |                  |             |                 |                |
| 大 阪 | ha              | ha      | %   | kg                           | %              | kg               | %              |                |                  |             |                 |                |
|     | 4,100           | △200    | 95  | 488                          | 103            | 504              | 104            | 多い             | やや少ない            | やや多い        | 前年並み            | 102            |



## 都市農業 新鮮な野菜の供給や地域の食文化継承を目指して



【発表中の西野氏】

令和7年9月17日（水曜日）、近畿農政局兵庫県拠点（神戸市中央区）において、都市農業に関する情報交換会が開催され、大阪市から西野農園代表の西野孝仁氏が都市近郊型農業の取組事例を発表されました。



【農園見学の様子】

### ☆都市農業に関する情報交換会☆

本情報交換会は、兵庫県西宮市での農園見学及び兵庫県拠点での情報交換会の2部制で開催され、農園見学では、地域への配慮や直売所運営について、また近隣農家と協力した残渣処理など課題解決に対する取組みの説明を受けました。

情報交換会では、農林水産省から都市農業をめぐる情勢の講演とともに、阪神地域の農業者3名からの取組事例発表がありました。その後、参加者は4つのグループに分かれ、都市農業ならではの課題や工夫について意見交換を行いました。

### ☆西野氏からの取組事例発表☆

西野氏の取組事例発表では、自動販売機などを使った販売の工夫、体験教室の講師として地域の方との交流を大切にしていること、地域の食文化継承のため「なにわの伝統野菜」の栽培に取組み、伝統野菜の食べ方や伝統文化との繋がりについても紹介されました。



【参加者からの質問に答える西野氏】



【グループごとの意見交換の様子】

大阪府拠点  
フォトレポートは  
こちらから→



都市農業に関する情報交換会の詳細は  
（兵庫県拠点HP）  
←こちらから



## 水なすの美味しさや農業の魅力を伝えたい！ ～大村農園～

令和7年9月29日、岸和田市で水なすの栽培をメインに、カリフラワー、ほうれん草、水菜、雑煮大根等を生産している大村農園を訪問し、代表の大村拓矢氏にお話を伺いました。



【水なす】



【水なす畑にて 大村氏】

### ☆就農のきっかけは？☆

大学卒業後、イベント会社に就職しましたが、友人に誘われて訪れた農産物直売所で「水なす」に出会い、その美味しさに感動しました。そのため、多くの人にこの美味しさを伝えたい、農業をやってみようと思うようになりました。

しかし、身近に農業に関係する親戚や知人もなく、まったく農業の知識もなかったことから、JAに飛び込みで研修先を教えてもらい、3年間の研修期間を経て、令和3年に就農しました。

### ☆栽培へのこだわりや水なすの販売先は？☆

環境への配慮として、有機肥料をできるだけ使用するようにしており、敷地内で栽培しているソルゴーを細かく裁断して緑肥として使用しています。

収穫した水なすは、ホテル、仲卸業者、漬物店、スーパーマーケットなどで販売していて、さらに販路を拡大したいです。

### ☆農業の魅力とは？☆

経営すべてを自分で行わねばならず忙しくて大変だが、その分、やりがいや満足感がある。また、地域活動への参加や農業を通じ、多くの人に助けってもらうことで人との繋がり大切さを実感できます。

### ☆今後の目標は？☆

さらに経営面積を拡大し、都市部の人にも農業を知ってもらい、興味を持ってもらえるような活動として収穫体験などをしたいです。また、漬物などの加工品製造にも挑戦したいです。

学んだ栽培技術を活かし、着実に経営面積や販路を拡大しながら、さらなる夢を熱く語ってくださった大村氏に今後も注目です！



【ソルゴー】



【熱く語る大村氏】

もっと詳しく！  
フォトレポートは  
こちらから→



## 「大阪産（もん）」の紹介

大阪産（もん）とは、大阪府内で生産された農林水産物とその加工品のことです。



← 大阪産（もん）に付けられているロゴマークは、大阪もんの言い換えである「品」をモチーフに「農産物や林産物などをイメージする萌葱色（もえぎいろ）」、「魚介類などをイメージする孔雀青（くじゃくあお）」「つくり手」の温かみや情熱など「大阪産（もん）」を支える人々をイメージする金茶色（きんちゃいろ）」を3つの「円」で表し、様々な主体の活動や連携の「輪・環」を築き広げること

### 季節の大阪産（もん）→

「柿」はビタミンCが豊富。免疫力を維持し、風邪の予防や疲労回復が期待できます。



## 「近畿 食と農まるごとブック」（令和6年度版）を活用ください

近畿農政局では、管内の食料・農業・農村分野に関する動向や主要施策の取組状況をとりとめた「近畿 食と農まるごとブック」（令和6年度版）を作成しました。

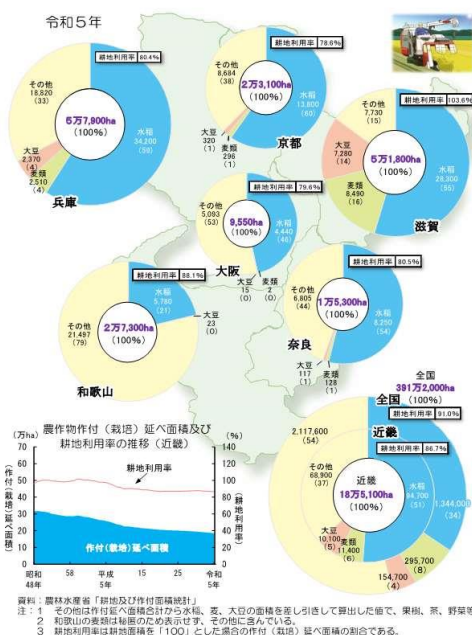
農業・農村の姿を写真や統計データを活用して紹介するとともに、地域における先進的で特色ある取組事例を多数掲載しています。

また、今年度は、「概要版」を作成し、トピック等を短時間で把握できるようにしています。農業関係者をはじめ、行政、教育など幅広い分野の方の参考資料として、ぜひご活用ください。

### 掲載例

#### (3) 農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率

- 近畿の作付（栽培）延べ面積は18万5,100haで、耕地利用率は86.7%。
- 近畿の作付（栽培）延べ面積に占める作物別の割合は、水稲が51%で最も高く、全国に比べて17ポイント高い。
- 滋賀の耕地利用率は103.6%と全国より高いが、他府県は全国より低い。
- 耕地利用率は長期的には緩やかな低下傾向にあるが、近年は横ばい。



### 特徴

#### ✓ 統計データ

令和7年6月30日までに公表された最新の統計データを主に、グラフ等によりわかりやすく掲載。

#### ✓ 施策動向

特集「食と農の多様な関わり」をはじめ、食料安全保障の確保、輸出の促進、農村の振興など各分野における最新の動向や、大阪・関西万博での取組などを掲載。

#### ✓ 地域における豊富な取組事例

各地域における先進的で特色ある176の取組を、写真や図表を多数使用して紹介。



## 「近畿 食と農まるごとブック」特設サイト

地方参事官ホットライン 電話：06-6941-9658（平日9:00～17:00） メール：hotline\_kinkiosaka@maff.go.jp

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見等がございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまで連絡ください。広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

近畿農政局 大阪府拠点 地方参事官室

電話：06-6941-9658（対応時間 平日9:00～17:00）

メール：hotline\_kinkiosaka@maff.go.jp

HPから：<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/161215.html>

【大阪農業mini知識】大阪府の耕地面積（田+畑）11,900ha（R6）

